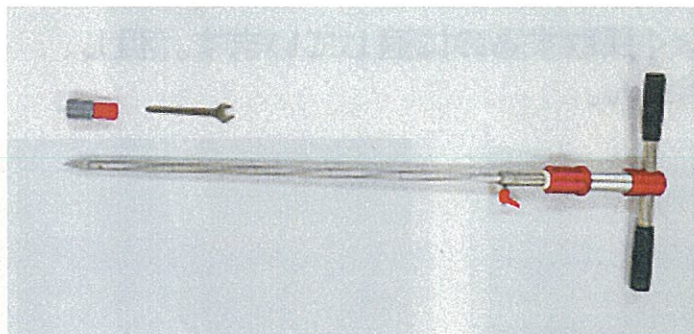
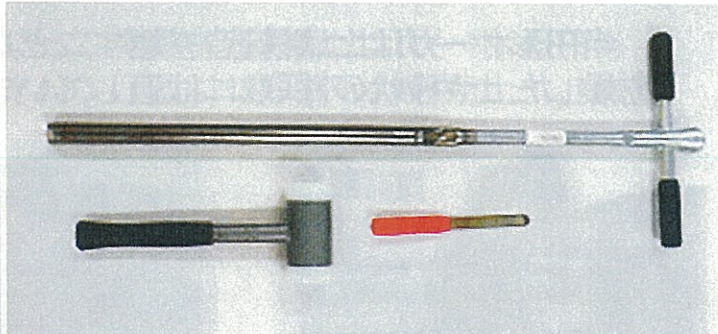


簡易型貫入式土壌硬度計



ハンドオーガー



簡易型貫入式土壌硬度計の使い方

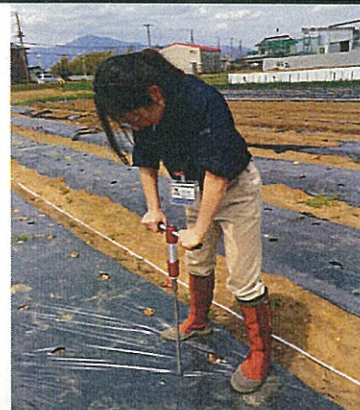
- ・目視で最大硬度と深度の読み取りが可能
- ・軽量のため持ち運びに便利



①土壌硬度計のコーン(とがった先端)のカバーをとります。



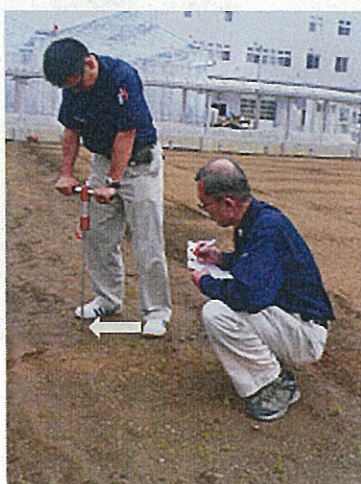
②白い目盛りリングを本体上部へ移動させます。



③土壌へ垂直にさし、ゆっくりと(1cm/sec)押し込みます。



④深さの目盛りと硬度目盛りリングの値を確認しながらもっとも硬い深さを確認します。



⑤深さの目盛りが読みにくいので2人一組で実施すると効率的。測定が終了したらゆっくりまっすぐに引き上げます。



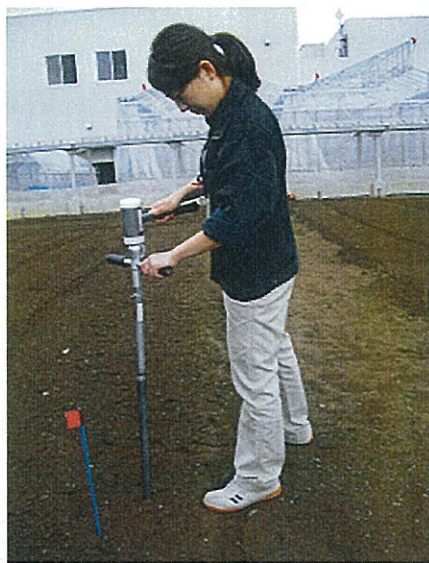
⑥硬度の目盛りリングの上部の値が最高硬度です。測定が終了したら②にもどります。値はばらつくので、測定は1箇所あたり5回行いましょう。

ハンドオーガーの使い方：土壌断面の観察・土壌採取

半円形オーガは土壌構造を壊すことなく採取するのに適しています。但し、乾燥した土や砂状の採取には適していません。



①刃先を土壌に押し込みます。



②硬い層にあたった場合は、付属のハンマーで押し込みます。



③ハンドルを1周回し、引き抜きます。切り取られた土層をヘラで整形し、断面を観察します。



④指で押して土層の厚さを調べます。硬盤層の位置、厚さ、下層の水分状況等を確認します。



⑤ヘラで土壌分析用の土壌のサンプリングを行います。残った土壌をヘラでそぎ落として作業は終了です。

⑥深さ別に土壌を採取できますので、その場で下層のpHやECも測定することができます。(ZAパーソナルのCセットを利用)